

情報公開用文書 (附属病院で実施する医学系研究)

(単施設研究用)

西暦 2024 年 11 月 15 日作成 第 1.43 版

研究課題名	食道癌根治切除例の組織検体を用いた dihydropyrimidine dehydrogenase(DPD) , thymidylate synthase(TS) の発現と生物学的特性の解析
研究の対象	2008 年 10 月 ~ 2017 年 12 月に横浜市立大学附属病院 消化器・一般外科で食道癌手術術を受けた方
研究目的 ・方法	目的 : 食道癌内の dihydropyrimidine dehydrogenase(以下 , DPD) と thymidylate synthase(以下 , TS) という酵素の臨床的意義を明らかとすることを目的とします . 両酵素は抗癌剤の効果に 関与していると考えられています . 方法 : 当院で保存されている手術検体を用いて免疫染色を実施し , DPD , TS 発現陽性割合や診療録から得られた臨床病理学的因子との関連を調査します .
研究期間	西暦 2019 年 11 月 11 日 許可日 ~ 西暦 2028 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	試料 : 当院で保存されている手術検体 情報 : 1) 基本情報 : 年齢、性別、身長、体重、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、臨床病期 2) 血液検査 : 白血球数、ヘモグロビン、血小板数、総タンパク、血清アルブミン、血中クレアチニン、CRP、総ビリルビン 3) 呼吸機能 : %肺活量、一秒率 4) 治療内容 : 術前化学放射線療法、術後化学放射線療法 等 5) 手術内容 : 手術日、郭清範囲、再建経路、吻合部位、胸腔鏡使用、手術時間、出血量、輸血 6) 病理所見 7) 有害事象 : 術後合併症 8) 転帰 : 呼吸器離脱日、退院日、最終生存確認日 等 手術検体の解析は、一部神奈川県立がんセンター消化器外科で行います。検体は個人を特定できないよう匿名化し、当院の研究者が直接運搬します。神奈川県立がんセンターで解析中の検体は、胃食道外科部長 (大島貴) の責任のもと管理し、解析終了後は当院へ返却されます。
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。	

情報公開用文書 (附属病院で実施する医学系研究)

(単施設研究用)

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 :

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 外科治療学 (研究責任者) 湯川寛夫 ~~青山徹~~

電話番号 : 045 - 787-2800 (代表) FAX : 045-786-0226